

2018年度 事業計画案

(2018年4月1日から2019年3月31日)

1. 2018年度の事業計画概要

2018年度は、世界経済が政治的なリスクはあるものの堅調な拡大を維持していくものと予想されています。日本においても良好な海外景気を背景に輸出は増勢を維持し、個人消費も所得の増加を受けて緩やかに景気拡大が続くものと予測されています。

2018年度は、技術革新が継続し、社会の仕組みにも大きく影響を与えていくものと思われまます。

これら技術の更なる進化を工場内での活用から材料の選定、事務部門の効率化、更には人材採用まで如何に活用していくかが、次の発展に大きく係わるものと思われまます。

2018年度もこういった先端技術の活用事例から環境に配慮した持続可能な製品開発に関する情報提供に取り組んで参ります。

また、食品衛生法等の一部を改正する法案が可決され、当業界に大きく係わる食品用容器包装等の衛生規制が実施されることとなりました。これを受けて厚生労働省では、2020年春の施行を目指して、食品用容器等のポジティブリスト制度導入(※合成樹脂材料に限る)のための準備を進めています。当協会も、厚労省と綿密に連携して、会員会社が現在使用している材料のリスト化と安全性の確認を行い、厚労省への提出を実施して参ります。

また、技術委員会を通してその他最新の技術情報を提供して参ります。

更には、キャップ春秋の発行、ホームページを活用した情報の提供及び大崎フォレストビルディングのプラスチックキャップ回収窓口などの活動を行って参ります。

2. 個別の事業計画

2-1 技術委員会活動

(1) 食品用器具及び容器包装のポジティブリスト化への対応について

① 厚労省における、PL化へ向けての経緯

食品衛生法等の一部を改正する法律案が、2018年4月13日に参議院本会議で可決され、PL制度の施行は、改正法案の公布後2年以内とされました。

今後、下記厚労省のスケジュールに合わせて、当協会としてのPL化へ向けた活動を行って参ります。

② ポジティブリスト化へ向けた当協会の活動概要

現製品を厚労省のPLに収載するための条件として、厚労省では、現製品に対して一定要件を満たすものは、施行後も使用可能とし、この要件を満たさないものに対しては、試験等で安全性の根拠を提示する必要があります。

時間のあまりない中、将来のトラブルを回避するため、漏れのないリスト化に努めます。

(2) AI・IoT 活用の事例等について

AI・IoTの活用が、生産性の向上、省エネ、燃費改善、物流の効率化、事務部門

の効率化、シェアリングなど様々な分野に広がりつつあります。これらを活用して現状をより良く変えていくことが利益の拡大に繋がり、また、新たなビジネスのヒントとも成り得るものと思われます。この先端技術は、今まで人がやっていたことをAIが変わって行うなどビジネスのやり方が根底から変わってしまうかもしれません。

本年度もIoTやAIの幅広い活用事例について、情報の提供に努めます。

- (3)各社のサステナビリティ(持続可能性)への取り組みに関する情報
持続可能な社会に向けて、環境をテーマとした製品開発を行う企業が増えてきました。この各社の取り組みを把握し、当業界も社会の流れに即した対応を取っていくことが重要となってきます。これら当該情報の提供に努めます。
- (4)新製品及び新技術に関する情報について
包装容器(キャップ)の新製品、新技術などの情報提供に努めます。
- (5)容器入り飲食料に関する情報について
各種飲食料に対する容器の使用状況などから今後の傾向などを探っていきます。
- (6)流通業界の動向について
近年、流通業界が商品の方向性に大きな主導権を握るようになってきています。この流通業界の動向を素早くキャッチして、社会のニーズに合った製品開発を進めることが益々重要になってきます。変化の激しい流通業界の動向に関する情報、即ち、製品開発のヒントとなるような情報の提供を行います。
- (7)その他関連事項の検討なども行います。

2-2 見学会の開催

本年度の見学会は、10月19日(金)に宮崎県の焼酎メーカーである霧島酒造での開催を予定しています。

霧島酒造は、14年連続増収で、5年連続焼酎の売上全国1位となる優良企業です。

霧島ファクトリーガーデンでは、産業・文化・ふれあいの施設が融合したガーデンパークで、本格焼酎の醸造施設をはじめ、文化施設、イベント・スポーツ施設、レストラン施設など、さまざまな施設が展開されています。

また、霧島酒造は、キャップ業界とも関わりの深い企業でもあり、その文化と伝統の歴史を学ぶことができます。

2-3 キャップ春秋の発行

2018年度における技術委員会での検討内容、見学会の内容、その他当協会の活動内容などを掲載します。

2-4 ホームページ(HP)を活用して情報の発信

役員及び会員情報の変更から2018年度活動方針、キャップ春秋の掲載などを行います。

また、その他各種情報の掲載や当業界の価値のアピールなどを行います。

2-5 大崎フォレストビルディングのプラスチックキャップ回収窓口

本年度は、大崎フォレストビルディングでの回収窓口を継続します。